

8-4-36 環境配慮専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 環境配慮専門委員会の開催

専門委員会は12回開催した（面談方式1回、面談及びWeb併用方式2回、Web方式9回）。

(2) マネジメントセミナーへの講演

9月3日のセミナーでは、「環境配慮経営の実践」に向けて～最近の環境動向と企業・技術者の取り組みの紹介～をテーマとして、環境配慮経営に係る最近の動向や建設コンサルタントの取り組み状況、今後に向けた取り組みの方向を説明した。

最初に、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」、「国土交通グリーンチャレンジ」、「SDGsアクションプラン2021」、「地域循環共生圏」などの政策動向から、建設コンサルタントが取り組む課題を「業務への環境配慮」、「持続可能な事業展開」、「社会貢献・企業価値の向上」の視点から整理した。

次に、会員企業157社、566人の社員からのアンケート回答結果によるSDGs、グリーンインフラ、カーボンニュートラルへの取り組み状況、キタイ設計㈱のSDGsへの実践例とその評価、15の専門委員会へのアンケートによるカーボンニュートラルに関する活動の予定を説明した。

最後に環境配慮経営の方向性として、環境・経済・社会の統合的向上を目指し、マネジメントシステムの運用・改善やSDGsの活用により、企業価値を高めていくことを提案した。

(3) 「環境配慮の手引き2021」のHP掲載

これまでの計画・設計業務における環境配慮の解説に加えて、環境配慮経営の考え方や企業や社員の役割に関する解説を盛り込み、環境関連情報サイトへのリンク確認及び最新情報を追加して、2021年版として協会HPに掲載した。

(4) 日本アセットマネジメント協会研究・実践発表会への論文発表

「建設コンサルタントの環境配慮経営からみたアセットマネジメントの可能性」と題し、会

員企業が実践している環境に配慮したまちづくりへの業務活動と地域アセットの係わりを整理するとともに、その維持管理・運営や公民連携による事業に継続的かつ効果的に取り組む方法として、SDGsを含むアセットマネジメントの可能性を考察し発表した（11月18日実施）。

(5) 環境配慮経営に関するアンケートの実施

技術者を対象として2021年5月に、「企業代表者・事務局」を対象として同年12月にアンケートを実施し、環境配慮経営への取り組み内容、SDGs及びグリーンインフラやカーボンニュートラルへの取り組み状況などに関して、566人の技術者、141社の「企業代表者・事務局」から回答を得た。

(6) 講演会の開催

2022年1月26日に、岐阜県立国際園芸アカデミー今西良共学長より「グリーンインフラ～緑の維持管理～」、八千代エンジニアリング株式会社環境計画部の吉原哲課長より沿岸域生態系を活用した環境と経済の好循環について～ブルーカーボン事業の取組と今後の展望～」と題する講演会を行った。分野横断・官民連携の視点から重点的に取り組むべき「グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり」、「港湾・海事分野におけるカーボンニュートラルの実現」に向けた講演であり、ライブ配信による196名の聴講者から多くの意見が寄せられた。

2. 次年度の活動について

(1) マネジメントセミナーでは、「国土交通省環境行動計画（2021年12月）」などに示されている2030年までのグリーンインフラやカーボンニュートラルに関する施策への建設コンサルタントの取り組み状況や課題を整理し、環境配慮経営の方向性を具体的に提案する。

(2) 先進的な地方自治体や会員企業に対して、ヒアリングや現地見学を行って実例を紹介する。

(3) カーボンニュートラルやグリーンインフラ関連業務、持続可能な事業展開、地域貢献や企業価値向上について「講演会」を開催する。

（環境配慮専門委員会委員長 荒川 仁）